

本校では、年2回の自己評価を行っています。1回目は9月（中間評価）、2回目は2月（最終評価）です。自己評価の資料として、7月と12月にご協力いただく児童アンケートや保護者アンケートなどを参考にしています。また、この自己評価は、客観性を高めるために、学外の関係者評価委員によって評価していただいています。この評価を学校評価と呼んでいます。本だよりでは、今年度の最終評価結果についてご報告いたします。

＜重点目標①（知）＞【自己の目標に向かい、計画的・自主的に学ぶ習慣を育てます】

アンケート結果			自己評価	中間評価に対する改善策	改善策の分析と3学期・来年度に向けた取組		
生徒	授業では、集中して先生や友だちの話を聞いている。	96%	→	<p><b>【課題①】 計画的に学習を進めている生徒があまり多くない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭でのリズム表作成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>→学級活動の時間に、帰宅してからどのような時間帯で生活するか計画表を作成し、それに基づいた生活をするよう指導した。</li> </ul> </li> <li>○定期テストにおけた取組                             <ul style="list-style-type: none"> <li>→どの教科からどれくらいの課題が出ているのか見える化し、計画的に取り組めるようにした。</li> </ul> </li> </ul> <p>取組の成果 ○</p>	<p>◇定期テスト前の計画表の作成は、計画的に学習を進めるためにはかなり有効であったので、改善しながら継続していく。</p> <p>◇3年生の学習時間は増加しているが、保護者は家庭学習がまだまだ足りないと考えている。</p> <p>◇より効果的な予習、復習のさせ方、宿題の出し方を</p>		
	授業では、話し合い活動に積極的に取り組んでいる。	92%	→				
	自分の考えを、根拠や理由を示して伝えようとしている。	90%	→				
	英語検定取得に向けて努力している。	81%	↑				
	家庭でも時間を決めて学習に取り組んでいる。	72%	→				
保護者	お子さんは、「授業がわかる」と言っている。	72%	↓			<p><b>【課題②】 英検取得に向けて努力している生徒があまり多くない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○放課後学習での弱点強化</li> <li>○家庭学習と朝学習を連携させた取組</li> </ul> <p>取組の成果 ◎</p>	<p>◇より効果的な予習、復習のさせ方、宿題の出し方を</p> <p>＜学校関係者評価委員会から＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の目標時間があるので、その時間が確保できるような取り組みをして欲しい。</li> <li>・勉強したかどうかは他人と比べるものではなく、自分で判断するものであり、自分自身の中で十分か不十分かを考えられる姿勢を身につけて欲しい。</li> <li>・自分で立てた計画に基づいて学習を進める習慣を身に</li> </ul> </li> </ul>
	お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。	64%	↓				
	お子さんは、家庭でも時間を決めて学習に取り組んでいる。	58%	↓				
	お子さんは、中間テストや期末テストに向け計画的に学習している。	60%	→				
	家庭でも読書の習慣が身に付いている。	40%	→				
教員	「意見を持つ」⇒「話し合い」⇒「再構築」⇒「振り返り」の授業展開に取り組んでいる。	89%	↓	<p>取組の成果 ◎</p>	<p>＜学校関係者評価委員会から＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習規律について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・語先後礼、授業前の集中タイムの取組が生徒の中にしっかり定着している。</li> </ul> </li> <li>○道徳について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・参観した道徳の授業では、多様な考えを出し合いながらさらに深く考えていく授業になっており、大人側が勉強になった。</li> </ul> </li> </ul>		
	ゴールイメージを持ち、それに到達できるような参考資料の提示をしている。	100%	→				
	授業以外（委員会等）でも、書く習慣と発表の場を設定している。	89%	↑				
	授業とリンクした予習・復習の課題を出している。	56%	↓				
	家庭学習について指導している。	89%	↓				

＜重点目標②（徳）＞【他を思いやる心や感謝の心を持ち、仲間と協力する態度を育てます】

アンケート結果			自己評価	中間評価に対する改善策	改善策の分析と3学期・来年度に向けた取組		
生徒	授業の5分前には教室に入って学習準備をしている。	90%	→	<p>◇毎月の生活・学習集会で、アンケート結果から見えてくる課題について繰り返し呼びかけることで、より良い学習規律が定着してきている。</p> <p>◇生活・学習集会を、生徒会が進行、呼びかけを行う形に変えることで、生徒の意識も高まってきた。</p> <p>◇考え議論する道徳の授業を行うことで、多様な考え方を互いに認め合い道徳</p> <p>取組の成果 ◎</p>	<p>＜学校関係者評価委員会から＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習規律について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・語先後礼、授業前の集中タイムの取組が生徒の中にしっかり定着している。</li> </ul> </li> <li>○道徳について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・参観した道徳の授業では、多様な考えを出し合いながらさらに深く考えていく授業になっており、大人側が勉強になった。</li> </ul> </li> </ul>		
	語先後礼・無言清掃に取り組んでいる。	94%	→				
	先生は、生徒の良い面をほめてくれる。	94%	→				
	生徒会活動に責任をもって取り組んでいる。	91%	→				
	部活動に積極的に取り組んでいる。	91%	↓				
保護者	生徒たちは、挨拶がしっかりできている。	88%	→			<p>取組の成果 ◎</p>	<p>＜学校関係者評価委員会から＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習規律について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・語先後礼、授業前の集中タイムの取組が生徒の中にしっかり定着している。</li> </ul> </li> <li>○道徳について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・参観した道徳の授業では、多様な考えを出し合いながらさらに深く考えていく授業になっており、大人側が勉強になった。</li> </ul> </li> </ul>
	お子さんは、部活動に積極的に取り組んでいる。	97%	→				
	先生は、生徒の良い面をほめてくれる。	98%	→				
	お子さんは、地域の行事に積極的に参加している。	82%	→				
	学校は、生徒と外部（地域やそれ以外の様々な人たち）をつなげる教育活動を大切にしている。	96%	↑				
教員	授業の5分前には教室に入り、生徒に学習準備をするよう促している。	100%	→	<p>取組の成果 ◎</p>	<p>＜学校関係者評価委員会から＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習規律について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・語先後礼、授業前の集中タイムの取組が生徒の中にしっかり定着している。</li> </ul> </li> <li>○道徳について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・参観した道徳の授業では、多様な考えを出し合いながらさらに深く考えていく授業になっており、大人側が勉強になった。</li> </ul> </li> </ul>		
	語先後礼・無言清掃の指導をしている。	89%	→				
	生徒の良い面を積極的にほめている。	100%	→				
	提出物は遅れずに出している。	89%	↑				
	普段の生活にも生きてくるような部活動指導に心がけている。	89%	→				

### <重点目標③(体)>【生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培います】

アンケート結果			自己評価	中間評価に対する改善策	改善策の分析と3学期・来年度に向けた取組				
生徒	11時ごろまでには寝ている。	71%	↓	<b>【課題④】就寝時間が遅い生徒が多い</b> <b>【課題⑤】家庭でのルール(テレビ・ゲーム・パソコンなど)が守れない生徒がいる</b> ○ゲーム・パソコン・スマホ等の使用時間を減らす取組 (ゲーム・パソコン・スマホ等の使用時間を短くすることで睡眠時間を確保させる) ➡使用時間のアンケートを取り、自分の生活を振り返らせた。 ○門前地区学校保健委員会の取組 ➡使用時間のアンケートを取り、自分の生活を振り返らせた。 ノーゲームデイを設定し、使用せず時間を有効に活用する指導	◇学年によって取り組む姿勢に差があるので、学校全体での取り組みと、学年に合った取り組みを合わせながら進めていく。 ◇ノーゲームデイの取組が定着してきているので、引				
	友だちを大切にしている。	100%	→						
	ゲーム、パソコン、スマホ等は家庭の決まりを守って使っている。	81%	↓						
保護者	お子さんは、11時頃までには寝ている。	66%	↓			<b>B</b> →	◇学校から家に帰る時間が遅く、子どもたちは自分の時間を確保するのが難しい時代になった。その中で、就寝時間も大切だが、睡眠時間が十分確保されている		
	学校は、教育相談やアンケート等を通して、積極的にいじめを発見しようとしている。	82%	→						
	お子さんは、ゲーム、パソコン、スマホ等は家庭の決まりを守って使っている。	68%	→						
教員	聞く姿勢など、授業規律を保ちながら授業を進めている。	89%	↓					<b>取組の成果 ○</b>	<<学校関係者評価委員会から>> ○睡眠時間について ・学校から家に帰る時間が遅く、子どもたちは自分の時間を確保するのが難しい時代になった。その中で、就寝時間も大切だが、睡眠時間が十分確保されている
	個に応じた指導や教育相談を行っている。	100%	→						
	いじめ基本方針の「生徒観察の視点」を意識して指導している。	89%	↓						

### 学校生活の基盤

アンケート結果			自己評価	中間評価に対する改善策	改善策の分析と3学期・来年度に向けた取組				
生徒	学校に行くのは楽しい。	83%	→	<b>【課題⑥】将来の夢や目標を持つことができない生徒がいる</b> ○キャリア教育講座の開催 ➡輪島市で活躍されている方6名をお招きし、お話を聞くことで自分の生き方について考えるきっかけの場を作った。 ○キャリア教育講座と道德、学活との連携 ➡キャリア教育講座の前後に自分の生き方について考える道德の授	◇保護者参加型の授業を取り入れることで、保護者も生徒と一緒に考えていききっかけづくりとなった。 ◇キャリア教育講座の後に体験活動や道德を行うことで、講座でのお話をさらに深く考えることができたので、今後も継続していく。特に、体験活動は効果的で				
	信頼できる先生がいる。	88%	→						
	将来の夢や目標を持っている。	62%	→						
	地域の行事に積極的に参加している。	80%	→						
保護者	お子さんは、学校へ行くのが楽しそうである。	84%	→			<b>B</b> →	<<学校関係者評価委員会から>> ○キャリア教育について ・数値で表すとわかりやすいが、生徒数が少ないので一人の差で数値は大きく変わる。数値だけで見ていくというのは難しい部分がある。素晴らしい取り組みなので、数値にとらわれず取り組みを進めて欲しい。 ・北國新聞の「地鳴り」に作文が載ることで自信にもつながるし、いろいろなことを考えるきっかけ		
	信頼できる先生がいる。	92%	→						
	お子さんは、将来の夢や目標を持っている。	62%	→						
教員	学校は、多忙化改善に向けた取り組みを積極的に進めている。	96%	→					<b>取組の成果 ◎</b>	<<学校関係者評価委員会から>> ○キャリア教育について ・数値で表すとわかりやすいが、生徒数が少ないので一人の差で数値は大きく変わる。数値だけで見ていくというのは難しい部分がある。素晴らしい取り組みなので、数値にとらわれず取り組みを進めて欲しい。 ・北國新聞の「地鳴り」に作文が載ることで自信にもつながるし、いろいろなことを考えるきっかけ
	学校だよりや学年だよりなどで、学校や生徒の様子を伝えている。	100%	↑						
	生徒のことについて、保護者との連絡をとっている。	84%	↓						
	管理職への報告・連絡・相談を行っている。	100%	↑						
多忙化改善に積極的に取り組んでいる。	82%	→	<b>取組の成果 ◎</b>						

- ➡ 5%以上増えている
  - ↑ 10%以上増えている
  - ↓ 5%以上減っている
  - ↓ 10パーセント以上減っている
- ※令和元年度1学期との比較



#### 【学校評価の目的】

学校評価を行う目的は、『第1に本校の教育活動や学校運営が適切に行われているかを評価し、学校として組織的・継続的な改善を図ること 第2に本校の結果を公表・説明して説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること』にあります。  
 今後ご協力をよろしくお願い致します。